

海南高等学校（美里分校）

実施日時	平成30年 7月 11日（水）
参加者	生徒33名、教職員11名、指導員3名 計47名
実施内容	避難所運営ゲーム、アンケート

事前の取組

避難所運営ゲームを実施する、県庁危機管理消防課と（株）貴志様と事前に打ち合わせをする。
各学年で一組の班を編成する。

主なプログラム

- ・避難所運営ゲームの事前説明
- ・避難所運営ゲーム（3グループに分かれて実習）
- ・各グループごとのまとめ
- ・グループごとの発表
- ・指導員より総括
- ・防災スクールに関するアンケート（感想文）
- ・「出張!減災教室」アンケート



参加者感想文

避難所運営ゲームは、ゲームだけれどゲームといえないぐらいの忙しさと必死で考えました。（15歳 女）

避難所についてニュースで見ることがよくあるが、ゲームとはいえこんなに大変とは思わなかった。（15歳 男）

ゲームは難しかったが、避難所について改めて考えさせられた。高齢者の方や幼児が家族にいる場合、いろいろと考えなければならないことを感じた。（16歳 男）

運営の大変さがわかった。実際にこのようなことが起きたときは運営するのに迷惑がかからないようにしようと思った。（17歳 男）

避難所では、いろいろ大変だと思ったが、特にトイレが大変なことを実感した。（17歳 男）

成果と課題

- ・ 減災教室については、避難所運営ゲームを事前説明で生徒に丁寧に説明いただいたため、生徒は概要が理解できて実習に入ることができた。
- ・ 1グループに1名の指導員が配置されたので、生徒がゲーム運営の流れをうまくアドバイスしていただけた。
- ・ 多くの生徒がグループ学習で活発に討議を進めていたが、一部関われない生徒がいたのは課題である。
- ・ 避難所運営ゲームを通じて、災害になったときの困難さを痛感したようであり、自覚を促す意味でも有効であった。